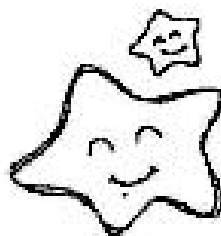


QSK

にぬふあぶし

No.302 ^ね子の方向の星(北極星)



宜野湾市地域活動支援センターはびわんだより

～ マスクマンより ～

はじめましてマスクマンと言います。

僕は、はびわんで「宇宙船カネハマ号」に乗船させてもらっていて、施設長である兼濱さんの行うイベントにほぼ全て参加させてもらっています。ラジオ(『でーじちゃーころびーカフェ』)や美化活動「ごみコロリ」に参加をし、以前やっていた子ども食堂にも参加しました。ピアサポート活動では、電話相談や職員への電話の取り次ぎ、そして来所した方の対応等をしています。

電話相談で気をつけている事は、出来るだけ相談者のガス抜きになるように話を拝聴する事と結論を言わないようにする事、そして相手が憑き物が落ちたような状態になってくれる事を心掛けています。

電話相談で相談を受けていると、相談相手が妄執的な思いにとらわれている事があります。その時、客観的視座になっていない話を聞くと、「自分もそんな状態におちいつている時があるな」と反省します。共感力が大事だと思いました。

自分は高齢者デイケアで働いているのですが、デイケア利用者やピアサポ相談者にありがとうと言われると素直に嬉しく、自分自身も憑き物が落ちたような清々しい心持ちになります。

人と人との関わりで自分自身を再更新しているような新鮮な気持ちになるのは良い事だと思います。

これからも宇宙船カネハマ号に乗船していきたいなと思います。



～ K・Sさんより ～

私は40代で ADHD (注意欠如・多動症) と言われました。一般職では仕事を覚える事が遅く、コミュニケーションも出来ない事があり長く働く事が出来ない。

その事をハローワークに相談して、私の病気を知りました。

現在私は A 型事業所で仕事をしながら、週2回、とても優しく元気な訪問看護師さんに、お薬の管理や運動、時にはお部屋の片付けを一緒に手伝ってもらっています。

これまで私は、コミュニケーションが原因で色々な人と喧嘩になったりトラブルになった事がありました。

そのトラブルを解決できたのは自分の力だけじゃなく、周りの人達 (事業所・市役所・訪問看護・はびわん・知人) に助けてもらっている事に気がつきました。

私はとってもいい人に恵まれています。

「心の中では、いつもありがとう」と思っているのに素直になれなくて、周りの人達を困らせています、ごめんなさい。



いつも私を助けてくれる事業所と市役所とはびわんの職員さん、そしてMさん、訪問看護のYさん、Oさん、いつもありがとうございます。

これからも私の事を優しく助けて下さい。

はびわんメンバーK・S

宜野湾市地域活動支援センターはびわんをご利用いただけるのは？

- ・ 宜野湾市在住でおもに障がい有る方とそのご家族
 - ・ はびわんの活動に興味有る方
 - ・ ボランティアを希望される方
- どなたでもお気軽にどうぞ！**

住所：沖縄県宜野湾市普天間1丁目3-6

電話：098-988-8151

ご利用時間：月～金 (祝日を除く) 午前9時～午後5時



HAPPY ♪ GINOWAN
ブログもよろしく



『家族による家族学習会』を終えて

沖福連・理事 宮國利津子

3名いる担当者のうちの1人として参加した「あかちち会」3度目の『家族による家族学習会』も、1月29日(土)に無事5回の日程を終えることができました。

今回の学習会に参加されたご家族にも、次は担当者として活動したいという方がいて、養成研修の受講などをさっそく進めているところです。

私自身は担当者として活動していくなかで、参加されたご家族が明るく前向きなお姿を取り戻されていくのを感じられたときは嬉しくなりました。

家族学習会で本音を語ることにより、他のご家族の情報にもなり、また当のご家族自身も解決の糸口を見出すことになり得ると思うのです。



当事者ご本人との関わり方、正しい対応の仕方を学ぶことにより、家族が変わっていくことで当事者ご本人も一歩前進されていくように感じられます。

家族学習会は同じ悩みを抱えているご家族だけでの学習会ですので、話しやすく、安心感が得られて、元気になれる場です。

この活動を続けていく必要があると思います。

2021年度は、南風原町「てるしのワークセンター」に会場を借りたあかちち会のほか、読谷村や沖縄市でも『家族による家族学習会』を開催することができました。

また、オンラインで全国とつながるリモート版家族学習会や、リモート版担当者研修&アドバイザー研修など、コロナ禍においても内外でなお活発な動きが続いているところを見ると、「つながりたい」家族の思いを背景に強く感じるすることができます。

『家族による家族学習会』は、学びを深めるツールとしてだけでなく、家族会活動を知る入り口としても、とても役立っていると感じます。

ただ資料から学ぶだけではなく、それぞれが経験を持ち寄り、話すことと聞くことを通して、毎回の時間を一期一会の豊かなものとしてくれているようです。(増山)

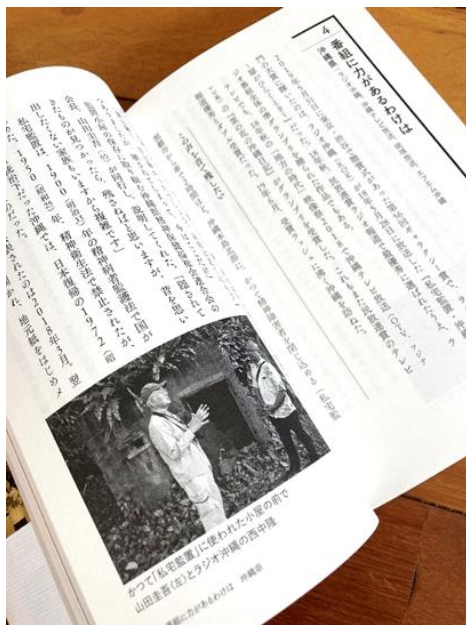
書籍『探訪 ローカル番組の作り手たち』のご案内

“朝日新聞で論説委員や編集委員として活躍したジャーナリストが、全国の各地に根差して活躍するローカル番組の制作者を訪ね歩く渾身のレポート。放送専門誌『民放』の好評連載、「日本列島作り手探訪」がついに一冊に。”(はる書房 HP より)

「駕籠かごに乗る人かつ担ぐ人、そのまた草鞋わらじを作る人」と言う言葉がある。世の中には様々な階級・職業がある、とのたとえであったり、またその様々な人がいて社会が構成されている、のような意味もあるらしい。

闇に葬られていた「私宅監置」を世に問うために写真パネル展を開催したり、映画「夜明け前のうた」を作って世に送り出した原義和監督。一緒になって活動している沖福連。趣旨に賛同し、支援してくださる多くの協力者。さらにはメディア(新聞、ラジオ、テレビ等)を通してその活動を世に知らしめている人たちがいる。

この書籍は各地のローカル番組に携わる放送局や番組の作り手について取り上げ、紹介している。手前味噌のようで面映ゆいのであるが、「私宅監置」に関連して活動するにも、表に出て、あるいは裏方として、実に多くの皆様に支えていただいていることを知っていただくためにも一読していただきたいと願っている。思いがけず各種メディアに取り上げていただいたこと、さらにそのことについて書きあらわしてくださった著者に感謝。(山田圭吾)



『探訪 ローカル番組の作り手たち』(著者: 隈元信一/出版社: はる書房)

編集後記

早いもので、もう4月ですね。ブラザでは2月末に植えたキャベツが育っていますが、防虫ネットしているのに青虫がたくさん・収穫出来たらお好み焼き大会を行事に入れようと思っているけど、どうなることや。自然界に勝るものは無し。つくづく無力さを思い知らされる今日この頃です。(Oggy)

編集: 公益社団法人 沖縄県精神保健福祉社会連合会
会長 山田 圭吾
〒901-1104
沖縄県島尻郡南風原町字宮平 206-1
てるしのワークセンター内
電話 098-889-4011 FAX 098-888-5655
E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp
発行: 九州障害者定期刊行物協会
〒812-0044
福岡市博多区千代 4-29-24 三原第3ビル3F
電話 092-753-9722 FAX 092-753-9723
定価: 10円(会費に含まれる)